

2022年11月21日発行

●トピックス&お知らせ

- ・冊子「明日を拓く技術開発」を発行しました～最新の研究成果・技術支援事例を紹介～
- ・風合い豊かな、抗菌性三河木綿を開発しました
～三河繊維技術センターが三河織物工業協同組合などと試作～
- ・「持続可能な食への挑戦～タンパク質供給危機にテクノロジーで挑む～」
研究交流クラブ第221回定例会の参加者を募集します
- ・産業技術センターが「生活創意工夫展」に出展しました
- ・産業技術センターの電話をダイヤルイン方式へ変更します

●技術紹介

- ・食品異物の血痕検査について
- ・Ti-Al系金属間化合物の切削加工について
- ・スナール指数について

<編集・発行> あいち産業科学技術総合センター 〒470-0356 豊田市八草町秋合 1267-1
URL : <https://www.aichi-inst.jp/> TEL : 0561-76-8301 E-mail : acist@pref.aichi.lg.jp



◆ 冊子「明日を拓く技術開発」を発行しました ～最新の研究成果・技術支援事例を紹介～

あいち産業科学技術総合センターでは、県内企業が抱える技術課題を解決するため、研究開発や技術支援を行っています。この中で得られた最新の研究成果と技術支援事例を、広く企業の皆様に知っていただくため、冊子「明日を拓く技術開発」を作成しました。

この冊子では、企業間(BtoB)向け製品開発、生活関連(BtoC)向け製品開発、計測・分析技術の3分野において、センターの研究成果や、企業の皆様が抱える技術課題の解決につながった事例62件を、写真入りで具体的に紹介しています。

本冊子は、本部、各技術センター・試験場で配布するとともに、センターのWebページ(<https://www.aichi-inst.jp/>)でも公開しています。

企業の皆様の製品開発や技術開発、課題解決等に本冊子及び当センターを是非ご活用ください。



冊子「明日を拓く技術開発」

- 詳しくは <https://www.pref.aichi.jp/press-release/20221110.html>
- 問合せ先 産業技術センター 総合技術支援・人材育成室
電話 : 0566-24-1841 [2022年12月1日以降 0566-45-5640(ダイヤルイン)]

◆ 風合い豊かな、抗菌性三河木綿を開発しました

～三河繊維技術センターが三河織物工業協同組合などと試作～

三河繊維技術センターは、愛知県と連携企業が特許出願している技術を活用し、三河木綿に抗菌性を付与した「抗菌性三河木綿」を開発しました。また、三河織物工業協同組合（蒲郡市）などと協力し、抗菌性三河木綿を用いた綿製品（エコバックやデッキチェア座面など）を試作しました。これらは、三河木綿本来の豊かな風合いを有し、洗濯後も抗菌性が高いという特徴があります。また、合成素材を用いないため、SDGsや低炭素社会の実現に寄与するものです。

同センターは、今回開発した抗菌性三河木綿と綿製品試作品を、三河産地の繊維製品の展示会「テックスビジョン 2022 ミカワ（2022年11月18日、19日開催）」に出展しました。また、2022年12月7日(水)から9日(金)の3日間、東京ビッグサイトで開催される「エコプロ 2022」に出展し、

愛知県の特産品である三河木綿のPRと共に開発技術を紹介する予定です。

三河繊維技術センターでは、生活関連素材や産業用素材の研究、製品評価を実施しており、繊維に関するご相談に随時対応しています。お気軽にお問合せ下さい。



開発した抗菌性三河木綿

抗菌性三河木綿を用いた綿製品（エコバック）

- 詳しくは <https://www.pref.aichi.jp/press-release/20221111.html>
- 問合せ先 三河繊維技術センター 製品開発室 電話：0533-59-7146

◆ 「持続可能な食への挑戦～タンパク質供給危機にテクノロジーで挑む～」

研究交流クラブ第221回定例会の参加者を募集します

本セミナーでは、肉の筋・脂肪・血管という異なる線維組織を3Dプリントで作製し、それを金太郎飴のように統合する「3Dプリント金太郎飴技術」により、肉の複雑な組織構造をテーラーメイドで構築する培養肉製造技術について講演します。これまで報告されている培養肉のほとんどは、筋繊維のみで構成されるミンチ用の肉であり、肉の複雑な組織構造を再現することは困難でした。しかし、今後の技術改善により、和牛の美しい“サシ”などさらに複雑な肉の構造の再現、脂肪や筋成分量の調整による味や食感の調整も可能になります。

○講演内容

畜産から培養へ：3Dプリント金太郎飴技術による和牛培養肉の構築

大阪大学大学院 工学研究科応用化学専攻
分子創成化学コース 教授 松崎典弥氏

○日時 2022年12月13日(火)14:00～16:00

○会場

愛知県産業労働センター（ウインクあいち）
1001会議室（名古屋市中村区名駅4-4-38）

○定員 50名

○参加費 無料

○申込期限 2022年12月5日（月）

○申込方法

下記URLの申込ページからお申込み下さい。
申込締切後に、事務局からお送りする「参加確定メール」にてQRコード付き参加票をお送りします。

- 詳しくは https://astf.jp/club/teirei_main.html
- 申込ページ <https://bit.ly/3zDeNbI>
- 問合せ先 公益財団法人科学技術交流財団 研究交流クラブ担当
電話：0561-76-8325 E-mail：research@astf.or.jp



◆ 産業技術センターが「生活創意工夫展」に出展しました

2022年10月8日、9日に刈谷市産業振興センターで開催された「生活創意工夫展（石田科学賞 児童生徒創意工夫展、技術・家庭科作品展）」に産業技術センターが出展しました。

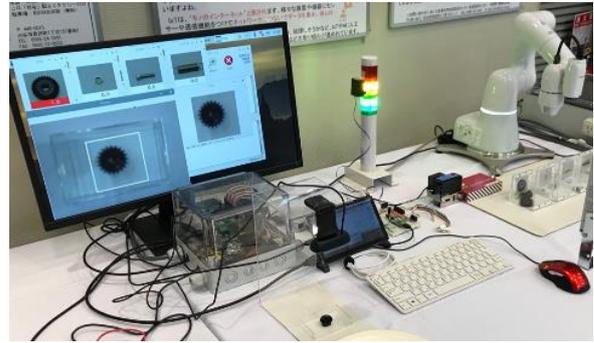
ブースでは、産業技術センターの研究開発成果である「FRP（繊維強化プラスチック）廃材の再利用」（化学材料室）及び「ロボット・AI・IoTシステムの簡易構築」（自動車・機械技術室）について紹介しました。



展示品（FRP 廃材を利用した再生線材やブラシなどの成形品）

FRP 廃材の再利用に関しては、企業との共同開発成果である工業用ブラシ・シートについて、製造工程の説明パネルと成形品・製品を展示しました。また、ロボット・AI・IoTシステムの簡易構築に関しては、ギアやボルト等の部品を AI で画像処理・判別して、アームロボットを制御するシステムの実演展示を行いました。

産業技術センターでは、これらの技術の研究開発・技術支援に取り組んでいます。ご関心のある方はお気軽にご相談ください。



展示品（ロボット・AI・IoTシステム）

●問合せ先 産業技術センター 総合技術支援・人材育成室
電話：0566-24-1841[2022年12月1日以降 0566-45-5640(ダイヤルイン)]

◆ 産業技術センターの電話をダイヤルイン方式へ変更します

産業技術センターでは、2022年12月1日よりダイヤルイン方式を導入し、各研究室等への直通電話を新設します。なお、従来の電話番号も使用できますが、自動音声案内により接続します。

○総務課（自動音声案内）

0566-24-1841

○総合技術支援・人材育成室

0566-45-5640

○化学材料室

0566-45-5641 燃料電池

0566-45-5642 無機分析

0566-45-5643 高分子

○金属材料室

0566-45-5644 金属加工

0566-45-5645 金属表面加工

○環境材料室

0566-45-6901 バイオ

0566-45-6902 物流技術

0566-45-6903 木材加工

○自動車・機械技術室

0566-45-6904 機械技術

0566-45-6905 自動車

○技術開発交流センター

0566-45-5981

●詳しくは https://www.aichi-inst.jp/sangyou/news/2022-11-11_000000.html

●問合せ先 産業技術センター 総務課 電話：0566-24-1841

(12月1日以降、自動音声案内)

